

新発田市 令和8年度 第6回定例記者会見(HP)

- 1 日 時 令和8年8月24日(月)午後3時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

【市長発表項目】

一般事項

○新発田市・株式会社ニューメディア「地デジ難視聴対策に関する協定」締結について

ケーブルテレビサービスを活用した難視聴対策をPR。

○小学校へのパラスポーツ出前講座の実施

幼少期からの心のバリアフリー、パラスポーツへの理解と関心を高める事業をPR。

○【初開催！！】OPEN GATE NIIGATA 新発田ラウンド

新発田初開催となる若者対象のビジネスアイデアコンテストをPR。

○男女の健康課題と働きやすい職場づくりセミナーを開催

安心して働ける職場を目指し、男女の健康課題について学ぶセミナーをPR。

○「新発田城茶会」を初めて開催します。

若者団体による新発田城を活用した初企画をPR。

【その他】

○みてみて★私の自慢展

○アルビレックス新潟レディースのホームゲームを開催

○在住外国人向け「防災セミナー」

○認知症映画上映会 映画「オレンジ・ランプ」

○新発田市音楽文化協会 第74回定期演奏会

○しばた事業所ウォーキングチャレンジ参加大募集

あいさつ

- 隣の聖籠町で新町長として手嶋さんが当選されました。手嶋さんは、西脇町政をそのまま引き継ぐと報道されていたので、これまで行ってきた新発田市と聖籠町間の約束事や進め方について大きな変更はないと喜んでいきます。引き続き、新発田市・聖籠町・胎内市の定住自立圏構想を確実に進めていきたいと思っています。
- 私自身、11 月に 5 期目の選挙がありますが、その前に友人でもある中原さんの新潟市長選が 10 月にあります。彼に新潟市長選の出馬を促した一人でもあるので、しっかりと応援していきたいと思っています。
- 本日の記者会見の前に後援会の役員会を開催するなど、11 月の市長選に向けた準備を進めているところです。報道各社の皆さんにはお世話になると思いますが、よろしくご指導をいただきたいと思います。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、新発田市・株式会社ニューメディア「地デジ難視聴対策に関する協定」締結についてです。

- 現在、当市には、地理的・地形的な条件により地上デジタル放送が良好に受信できない難視聴地域があり、そこにお住まいの皆さまは、任意で「テレビ難視聴共聴組合」を設立して共同アンテナを管理されています。市内にはそういった組合が15組合有り、市は運営費の一部補助などの支援を行っています。
- 地デジへの完全切替となってからおよそ15年が経過し、施設の老朽化や組合員の高齢化など、各組合を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、度々ご相談をいただく中で改善策を模索しておりました。
- 関係事業者や国の担当者などから情報収集を重ねる中、ケーブルテレビ事業者と情報交換をしたことがきっかけとなり、この度、市内の難視聴地域を対象としたサービス提供のご提案を頂戴したものです。
- ケーブルテレビに加入した場合、毎月、視聴料が発生しますので、加入する、しないは、あくまで個人の自由であります。今後、共聴施設の老朽化により改修が必要になった場合、莫大な費用が発生するであろうことを踏まえ、対象となる地域の皆さまにとっては、非常に良い提案であると捉えておることから、当市と株式会社ニューメディアとの間で連携協定を締結し、難視聴地域の解消に向けて協力体制を敷いたものであります。
- この取組によって、難視聴地域にお住まいの皆さまが、ストレスなくテレビを視聴できる環境が整備されるとともに、一般的に、ケーブルTVは災害時においても役に立つメディアであることから、今後の展開について、大いに期待を寄せるところであります。

次に、小学校へのパラスポーツ出前講座の実施についてです。

- 令和元年度からスタートしたこの事業は、新潟医療福祉大学と認定 NPO 法人とらい夢、そして、新発田市の官・民・学の連携による事業として、市内小学校においてパラスポーツの出前講座を実施しております。
- 内容は、パラスポーツの中でも人気のある「車椅子バスケットボール」で、今年も市内の小学校 5 校で実施を予定しています。
- 当日は、新潟医療福祉大学の車椅子をお借りし、同大学のパラスポーツを専門に研究されている重^{しげとう}藤先生を講師に迎え、車椅子に関する知識を深める講義を行っていただいた後、児童が実際に車椅子に乗って、車椅子バスケットボールを体験する内容です。
- なお、車椅子バスケットチームに所属している担当職員がおりますので、当日は車椅子の操作やボールの扱いについてデモンストレーションを行いながら進めていきます。
- 児童たちは、乗りなれない車椅子を使い、更にバスケットボールにチャレンジするという、通常の運動方法とは異なる動きを体験しますので、この講座を通して、幼少期から障がいへの理解と気づきを育むとともに、パラスポーツへの関心を更に深め、「心のバリアフリー」の推進につなげたいと考えております。
- 目を輝かせながら、真剣に車椅子バスケットに取り組む児童たちの様子をぜひご覧ください。

次に、オープンゲートニイガタ 新発田ラウンド開催についてです。

○開志専門職大学を中心とした実行委員会が2023年から主催している若者ビジネスアイデアコンテスト「オープン・ゲート・ニイガタ」の予選会が新発田市で初開催されます。

○ベンチャーマインドを高めることを目的としている本コンテストは、高校生を対象としたレインボーゲート部門と大学生・専門学生等を対象としたブレイブゲート部門の2部門が開催されます。

○参加チームは「地域社会に新しい価値を創造する」ビジネスアイデアを発表し、各部門上位2チームは11月に開催される決勝大会において県内7カ所の予選会を突破した代表として、さらに磨き上げたビジネスアイデアを発表します。

○本予選会は、当市に本社を置く、株式会社ハードオフコーポレーションの山本社長が審査委員長をお務めになられていることから開催が実現しました。

審査委員も当市で活躍されている経営者の方々が担当されます。

○当市は大学や高校など、多くの教育機関を有する若者が集うまちであります。

当日は市内大学、高校をはじめ、阿賀北地域からも多く若者が集い、日頃の研究成果や学習成果を発表するとともに、コンテスト終了後には交流会を開催し、参加者同士の交流も深める予定としています。

次に、「知る。感じる。職場がかわる。体験から学ぶ 男女の健康課題と働きやすい職場づくりセミナー」の開催についてです。

○新潟県では若年層、特に女性の県外流出が著しく、人口減少に拍車をかけており、若者や女性が県外へ転出する主な要因として、地方における「ジェンダーギャップ」が大きく関わっています。

○当市においても「職場」、「家庭」、「地域」でジェンダーギャップが存在していることを、市民意識調査や講座参加者アンケートで把握しております。

○こうした現状を踏まえ、今年度新たに創設された「新潟県ジェンダーギャップ解消支援交付金」を活用して「男女の健康課題と働きやすい職場づくりセミナー」を行います。

○このセミナーの目的は、男女それぞれの健康課題を理解し、お互いに安心して働ける職場環境を目指すもので、7月に企業・団体向けに開催した「男女共に働きやすく、誰もが活躍できる職場づくりのためのセミナー」の第2弾となります。

○セミナーでは、男女の健康課題に詳しい「ウイメンズヘルス^{ラボ}lab」の増田^{ますだ}様からの職場における男女の健康課題についての講演と、講演会に参加いただいた方で、希望される方には「生理痛体験・ワークショップ」を行います。

○このセミナーを通して、一人ひとりの考えや行動が変わることで、誰もが働きやすい職場や家庭、地域につながることを期待しております。

最後に、「新発田城茶会」を初めて開催します。

- さて、私の長年の夢でもあります、「新発田城土橋門の復元」プロジェクトが、いよいよ目に見える形で進んでまいりました。新発田城前の市道は来年春に供用開始し、その後、土橋門復元工事が本格的に始まり、10年度末には完成の運びとなります。
- 私はかねてより「城下町は懐が深い」とお伝えしております。長い歴史と伝統を守りながら、新しい挑戦をも温かく受け入れてくれる「城下町新発田の懐の深さ」という意味ではありますが、この度は、市が行う「城の復元」というチャレンジに対し、若者たちが一緒に汗をかいてくれることとなりました。
- 市の取組に共鳴した若者有志が「新発田城活性化 若者実行委員会」を立ち上げ、まちづくりへの第一歩として企画したのが、この「新発田城茶会」です。若者ならではの視点と行動力を活かし、新発田城に新しい価値を生み出そうと奮闘しており、私もその活動に対して大きな期待と心強さを感じています。
- 今回の「新発田城茶会」では、著名な先生方をお招きし、新発田城内の特設茶席において日本の伝統文化を体験していただく内容となっています。無料の着物レンタルと着付けサービスも用意されており、和装で城内を散策しながら、日本文化や新発田城の歴史に触れる貴重な機会を提供します。このイベントは、新発田城の民間活用の記念すべき第一号です。こうした活動が地域の活性化や郷土への愛着醸成につながることを確信しており、市としても全力で応援し、大切に育てていきたいと考えています。
- ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、日本の伝統文化や新発田城の魅力を感じていただくとともに、若者たちの懸命な姿にもご注目いただき、温かいご支援をお寄せいただければ幸いです。
- 本日は、この企画をPRするため、新発田城活性化若者実行委員会

代表の石井雄大さんにお越しいただいておりますので、初開催となるこの企画に対する意気込みを一言お願いいたします。

(石井雄大新発田城活性化若者実行委員長)

○新発田城活性化若者実行委員会の石井と申します。

新発田ってどういう町と聞かれると、私は城がある城下町だと答えています。そういう市民は少なくないのではないかと思います。

若い人が集まって、新発田のシンボルである新発田城をどうしたらいいかという話をしたことがあり、その際、ひとつのしっかりした結論が出ました。それは、「城を残すだけでなく、活かしていく城にしていきたい、新発田市がそういう町だといいね」ということでした。

また、ただ言っているだけでなく、出た結論に対して実際に行動していこうということになり、今回、新発田城茶会を企画しました。こういう企画をやりたいと市に話をさせていただいたところ、とても前向きに捉えていただき、共催していただくことになりました。

共催をいただきましたし、城も行政が管理を行っているのですが、なんでも行政任せでやるつもりはなく、地域のシンボルである城を一個人や一事業者としてお城を守る。そして、ただ残していくのではなく、活用しながら本当の意味で守っていく、そういう町になってもらいたいと思います。そのきっかけになればいいと思い、今回、新発田城茶会を開催することになりました。10月11日(日)の開催となります。ぜひ、取材をお願いいたします。

(市長)

○茶席では、3 席を用意しているとのことなので、私も参加させていただきたいと思います。記者の皆様も、ぜひ取材していただき、多くの市民や県民の方に、「新発田の若者が新発田城を活用して元気なまちを作ろうとしている」、この意気込みを伝えてほしいと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。